

錦上 添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
9月20日発行 NO.16
文責 出崎 友英

役割が人を育てる。

今、学校は新しい生徒会役員選挙期間です。登校時間帯の生徒昇降口では、投票を呼びかける活発な声が響いています。新たな錦ヶ丘中学校のリーダーが選ばれる時期が近づいてきました。また、多くの部活動では3年生が引退して、新しいキャプテン、リーダーが中心となって新チームの活動がスタートしています。

以前読んだ本に、こんな文章がありました。

人から何かを頼まれたとき、忙しかったり、やっかいなことだったりすると、つい「そんな面倒なことをやってられない。」と断ったり、「自分にはできるだろうか」と不安を感じたり、重荷に感じて引き受けるのを迷ったりする。

けれども、考えてみると誰かから頼られることはうれしいことである。頼られるのは「あの人ならやってくれるだろう。」と期待されているからに他ならない。

だから、最初から「自分にはできない。」と言って断るのでなくて、とにかく全力を傾けてやってみることである。その結果、役割を果たせて喜んでもらった時ほどうれしいことはないし、大きな自信も生まれてくる。↑

もし、期待に応えられなかったとしても、頑張って取り組んだことは決して無駄にはならない。「できないかもしれない。」と思ったことに、頑張って取り組むことで自分が成長する機会ともなるし、頼んだ人もやってくれたこと自体に感謝するものである。

ほかでもない自分自身に寄せられた期待と信頼である。すすんで受け入れて、精一杯取り組んでみてはどうだろう。そして、自分の成長と、喜んでもらえる喜びを味わいたい。(PHP「心を寄せ合いあたたかい社会を」より抜粋)

「役割が人を育てる。」という言葉があります。

「この仕事を引き受けてくれませんか？」と声をかけられたとき、それは自分がさらに伸びていくチャンスなのです。

「自分にはできないかもしれない…」と思っていた役割を、どうにかやり遂げることができたならば、それは新しい自分との出会いなのです。

誰かに何か頼まれたときは、自分を伸ばすよいチャンスとして、また新たな自分と出会う機会だととらえて、ぜひ一歩前に踏み出す勇気を持ってくれることを願っています。



生徒会選挙期間です。

新しい生徒会のリーダーを決める生徒会選挙が告示され、総勢18人の生徒たちが立候補しました。今週は朝の昇降口で、立候補者とその応援をする推薦者の人たちが登校してくる生徒に向けて活発に呼びかけていました。立候補者の演説と投票は、9月26日(木)です。錦ヶ丘中の新たなリーダーたちがどんなことを語るのか、とても楽しみにしています。



◆お知らせです。

○佐賀県で開催されている国民スポーツ大会のテニス競技少年の部に、3年〇〇〇〇くんが熊本県代表として出場します。高校生年代の選手に交じっての出場でハイレベルな戦いになることだと思います。〇〇くんの健闘を期待しています。がんばってください！



○9月14日(土)15日(日)に開催された熊本市新人バドミントン大会で、女子団体Bチームが準優勝しました。同じく女子団体Aチームもベスト8に入り、そろって11月の県大会に出場します。また、女子ダブルスで1年〇〇〇〇さん〇〇〇〇さんペアがベスト8になり、県大会へ出場します。バドミントン部の皆さん、おめでとうございます。



努力が実るとは限らない。
でも、目標達成した人は必ず努力している。

「先生のコトバ集」より